

仕様

仕様は、製品改良のため予告なく変更することがあります。

電源電圧	交流100V	水道水圧	0.03～1MPa(0.3～10kg/cm ²)
周波数	50/60Hz共通	洗浄方式	回転噴射ノズル方式
定格電流	9.9/10.2A(50/60Hz)	すすぎ方式	ためすすぎ
消費電力	洗浄モーター 160/200W(50/60Hz) ヒーター 820W 最大消費電力 980/1020W(50/60Hz)	乾燥方式	強制排気乾燥方式 ヒーター加熱とファンによる送風
外形寸法	(幅)410mm×(奥行)457mm×(高さ)456mm	標準食器容量	食器点数 30点 まな板をセットした場合(27点)
製品重量	16kg		

総合相談窓口 相談受付時間 月曜日～金曜日(祭日及び当社の休日を除く) 9:00～12:00、13:00～17:00

家電製品についての全般的なご相談は、もよりの下記電話番線にお問い合わせください。

- ◆北海道地区 ☎札幌 (011) 293-1522 ◆東北地区 ☎仙台 (022) 714-6137
- ◆関東地区 ☎東京 (03) 3815-1111 ◆中部・北陸地区 ☎名古屋 (052) 533-5245
- ◆近畿・四国地区 ☎大阪 (06) 8994-9570 ◆中国地区 ☎広島 (082) 544-6036
- ◆九州・沖縄地区 ☎福岡 (092) 263-7529

※使用・FAXで相談される場合は

東京お客様センター FAX 東京 (03) 5803-3696 〒113-8434 東京都文京区本郷3-10-15
大阪お客様センター FAX 大阪 (06) 6994-9510 〒570-8677 大阪府守口市京浜本通2-5-5

修理や製品に関する相談は、お買い上げの販売店、または別紙の修理相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検 長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を!



このような症状はありませんか

- 水切れがする。
- ひどくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- 食器洗い乾燥機にさわるとビリビリ電気を感ずる。
- 脱気付けが壊れたりググッとしている。
- その他の異常や故障がある。

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

三洋電機株式会社

ホーム・アプライアンスカンパニー 電化事業部 〒520-2198
滋賀県大津市瀬田1丁目1番1号 電話(077)543-5601

お客さまメモ	
品 番	DW-SU1
ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	電話 () -
もよりの当社 ご 相 談 窓 口	電話 () -

83200D

取扱説明書

SANYO

コンパクト 食器洗い乾燥機 品番 DW-SU1

1. 超音波と新水流で
洗剤を溶かし洗浄力バツグン
2. 軽い汚れは すばやく洗浄
スピーディコース約17分(給湯接続時)
3. わかり易い
デジタル残時間表示

目次

安全上のご注意	1～2
入れてはいけないもの	3
落ちない汚れ	3
お願い	3
各部のなまえ	4
●付属品	4
操作パネル部のなまえとはたらき	5～6

使いかた	7
食器の入れかた	8～10
コース別操作の手順	11～14
「標準」コース	11
「スピーディ」コース	12
「キンコロ(80℃)」コース	13
「乾燥60分」コース	14
いろいろな運転のしかた	14
所要時間の目安	15

仕上がりが悪いと思われる場合	16
お手入れ	17
据え付け	18～20
異常表示	21
凍結・停電・断水したとき	21
別売品	22
アフターサービスについて	22
仕様	裏表紙



このたびは食器洗い乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受取りのうえ、この説明書とともに大切に保存してください。

上手に使って上手に節電

使用前の
前に

使いか
た

その他

安全上のご注意

必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分しています。

警告

この表示の欄には、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 内容をよく理解してから本文をお読みください。

注意

この表示の欄には、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

電源プラグの取り扱い

定格5A以上の専用コンセントを単独で使って下さい。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

刃及び刃の取り付け面にはこりが付着している電源プラグは使わないでください。こりが付着している場合は、よくふいてご使用ください。火災の原因になります。

コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加圧したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加圧したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

アースは確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事師または販売店にご相談ください。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電やけがをすることがあります。

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に、必ず点検修理をご依頼ください。感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

お手入れは運転終了後30分以上にする

食器の取り出し、フィルタやヒーターカバーの掃除、お手入れは運転終了後30分以上経過してから行ってください。やけどをする恐れがあります。

火気や引火物を近付けない

火のついたローソク、蚊取り線香、燭台などの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください。変形や火災の恐れがあります。

本体への水や衝撃は禁物

水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

運転中は本体に衝撃を与えないでください。感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

※お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示の例

△記号は、「注意（警告）事項」を示します。（左図の場合は、「一般注意」を示す。）

⊘記号は、「禁止事項」を示します。（左図の場合は、「分解禁止」を示す。）

●記号は、「強制事項」を示します。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」を示す。）

警告

ガスコンロなどの熱源からは15cm以上離す

火災や変形の恐れがあります。

お子様に注意する

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。

ご自分で絶対に分解や修理はしない

改造はしないでください。また、修理技術者以外の方は、分解や修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理は、お買い上げの販売店または当社指定のお客さま相談窓口にご相談ください。

運転中または、終了後30分間はヒーターカバーに触れない

運転中または運転終了後30分間は絶対にタンクやヒーターやヒーターカバーに触れないでください。やけどをする恐れがあります。

上に重いものや水の入った容器を置かない

天面の上に、重量が6kgを超える物や表面温度が90℃を超える物は置かないでください。天面の上に、落下して危険な物（水や熱湯の入った容器・熱器具・電気製品・ガラス類・刃物類等）は置かないでください。ドアの開閉で落ちるとケガをすることがあります。また、こぼれた水で地盤が湿くなり、漏電や火災の原因になります。

注意

開いたドアや本体を強く押さない

転倒、落下によりケガをすることがあります。

高温水や湯気に注意する

運転中はドアを開けないでください。高温の湯気が出て、やけどをすることがあります。洗浄水や排水が高温になっており、手を触れるとやけどをします。

排水口付近には近づかないでください。湯気、湿気によりやけどをすることがあります。

電源コードの取り扱い

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

長期間使用しない時、異常がある時は電源プラグを抜く

長期間に使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。

入れてはいけないもの

■内の数字は説明のあるページです。

プラスチック容器等の軽くて小さい食器

- 洗浄水で飛ばされ下に落ちる場合があります。
- ヒーターカバーの上に落ちた場合、ヒーターの熱で変色したり、焦げたような臭気が出たりするので入れないでください。発煙や故障の原因となります。



耐熱90℃以下の樹脂製のもの（耐熱表示のないものも含む）ほ乳瓶の乳首など小さくて袋状のもの

- 変形します。
- ※ 主な板に関しては 87 主な板の場合 参照



ふきん・スポンジなど

- 食器および調理器具以外は入れないでください。
- 発火、発煙の恐れがあります。



カットグラス・クリスタルグラス・強化ガラス

- クリスタルグラスは、表面が侵食され白くにごります。
- カットグラス、強化ガラスは、水温変化で割れることがあります。
- ※ 乾度のみでの使用は、可成です。



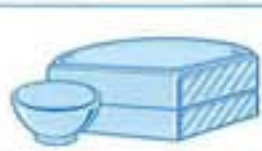
びん・徳利などの食器・ひびの入った食器

- 口の小さいものは、中が洗えません。
- ひびが入った食器は割れる恐れがあります。



漆塗り食器・畳箱・金箔入りの食器・木製の食器

- はがれる恐れがあります。



銀製・洋銀製食器など

- 金色にかわり、その後変色します。



アルミ製の鍋や食器

- 白くなり、その後灰色に変色します。



落ちない汚れ

- 手洗いで落ちにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。こすり落としてから入れるか、手洗いしてください。

(例)



グラタンのかげつき



煮たんまりなどの
のがんごな汚れ



鍋の焼けこげ



じ紅の汚れ

（特殊な薬品により、
落ちない場合があります。）



レモン汁をかけた
さしみの跡

お願い

専用洗剤以外は使わないで

- 一般の台所用洗剤を使用すると、洗剤が異常に発生し、運転できません。



専用洗剤 一般の台所用洗剤

70℃以上のお湯は使わないで

- 70℃以上のお湯が供給される蛇口には接続しないでください。ホースや内部の部品が破損する恐れがあり、運転を停止することがあります。



ラッチの穴や吸・排気口に物を入れたりふさがらないで

- ラッチの穴や本体前面の吸・排気口には指や物を差し込まないでください。故障、事故の原因になります。

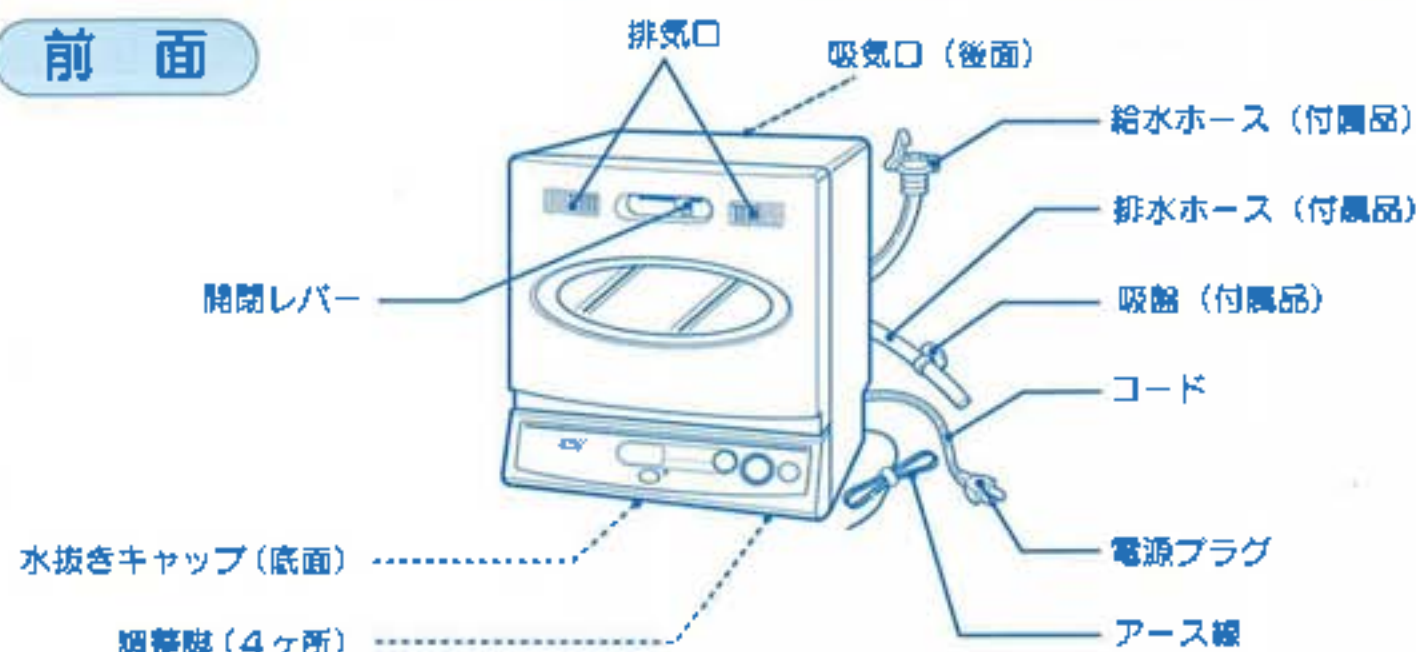


テレビやラジオなどの電気製品を近づけないで

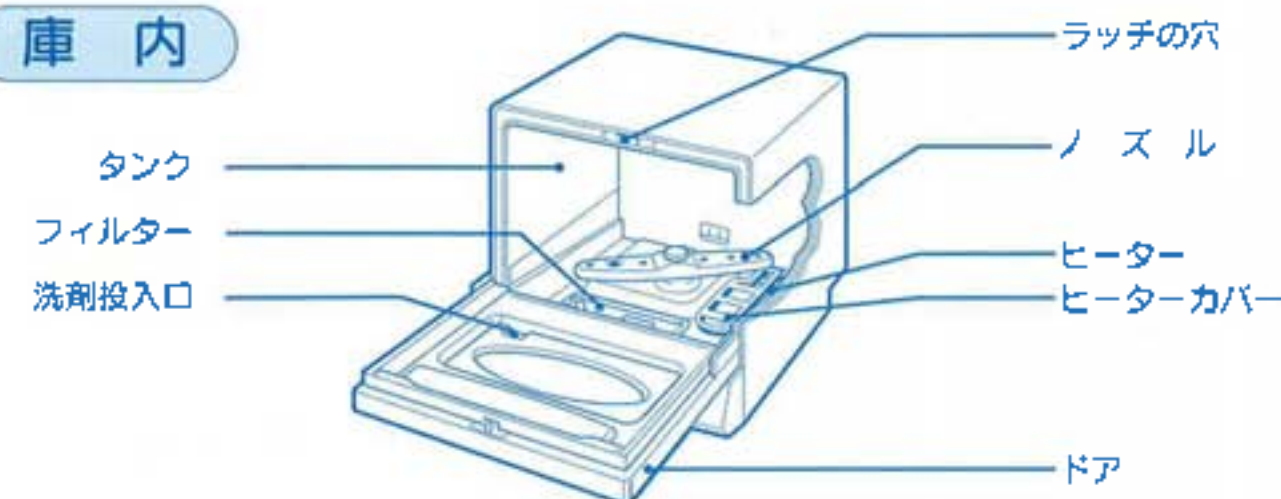
- テレビやラジオなどから2m以上離してください。感電の恐れや雑音が入ることがあります。

各部のなまえ

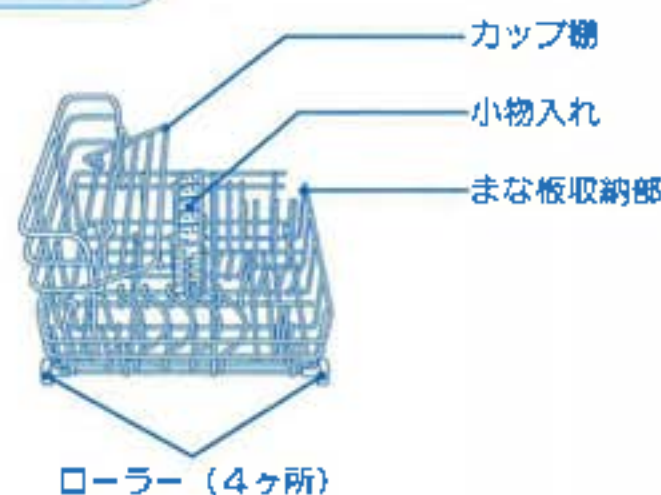
前面



庫内



カゴ



付属品（お確かめください。）



給水・排水ホース
(長さ1m)



専用洗剤(100g)
(計量スプーンつき)

- この機種には、「マジックジョイント」を同梱してありません。
- 水栓に給水ホースを接続するときは、かならず「分岐水栓」か「マジックジョイント」が必要です。

20 取付け 4 参照

操作パネル部のなまえとはたらき

■ 内の数字は説明のあるページです。

超音波について

洗い～すすぎ1回目まで超音波発生器により超音波を発生させています。超音波と新水流で洗剤を溶かし、洗浄力の向上をはかっています。

残り時間・異常表示

運転中は、目安の残り時間を表示します。

- 「カラッと仕上げ」は、残り時間を表示しません。
- 残り時間が99分をこえるときは、2Hと表示します。

15 残り時間表示の途中修正について 参照

21 異常表示 参照

「スタート/一時停止」ボタン

運転を「スタート」または「一時停止」させるときに押します。

- 一時停止させた後、再びスタートさせるときは、もう一度押します。
- 運転中にドアを開けるときは、ボタンを押して一時停止状態にしてからゆっくり開けてください。再びスタートさせるときは、ドアを閉じてからもう一度ボタンを押してください。

(ボタンを押さずにドアを開けた場合も、自動的に一時停止状態になります。)

電源スイッチ

押すと「入」になり、もう一度押すと「切」になります。

オートオフ機能

- スタートせずに放置していると10分後に「切」になります。
- 運転終了後自動的に「切」になります。

(「カラッと仕上げ」を取り消したときは、運転終了後10分間、乾欠送風運転を行った後に「切」になります。)

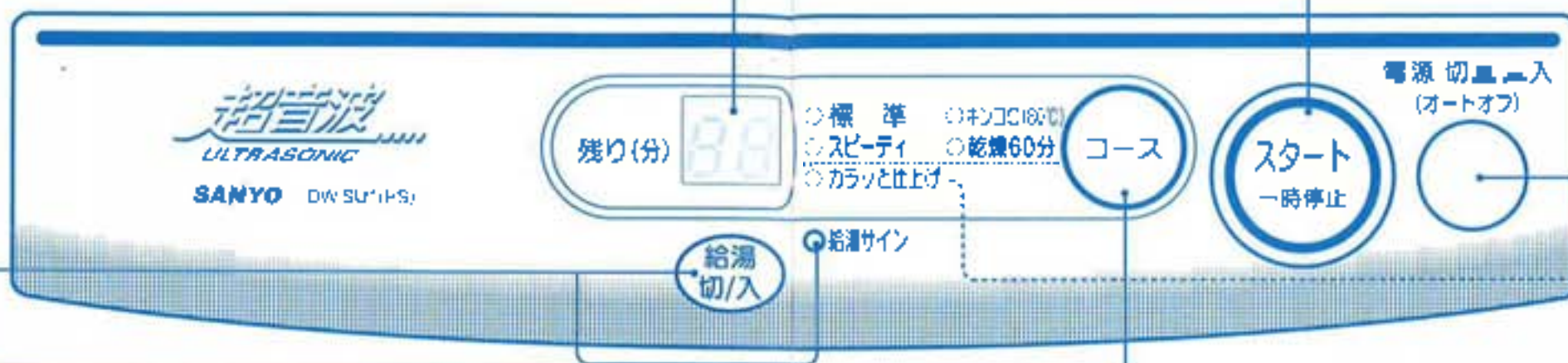
「給湯 切/入」ボタン・「給湯サイン」ランプ

このボタンは給湯配管に接続したときに使用します。

- スタート前にボタンを押すと「給湯サイン」ランプが点灯し、給湯付様になります。(ランプ消灯時は給水11℃です。)

15 給湯接続について 参照

※「標準」「スピーディ」「キンコロ(80℃)」コースで設定できます。



「コース」ボタン

コースを選ぶとき(スタート前)および「乾燥60分」「カラッと仕上げ」を変更するとき(スタート後)に押します。

- 食器の汚れ具合、洗いかたに応じて押します。

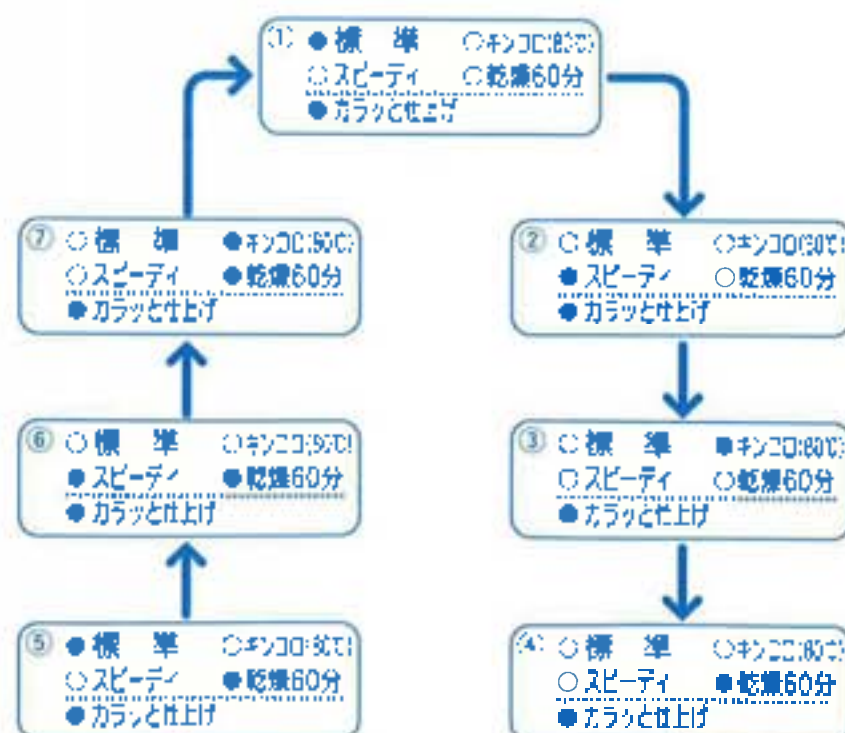
5 コースの切り換わりかた 参照

6 「乾燥60分」「カラッと仕上げ」の変更 参照

◇スタート前(運転開始前)

コースの切り換わりかた

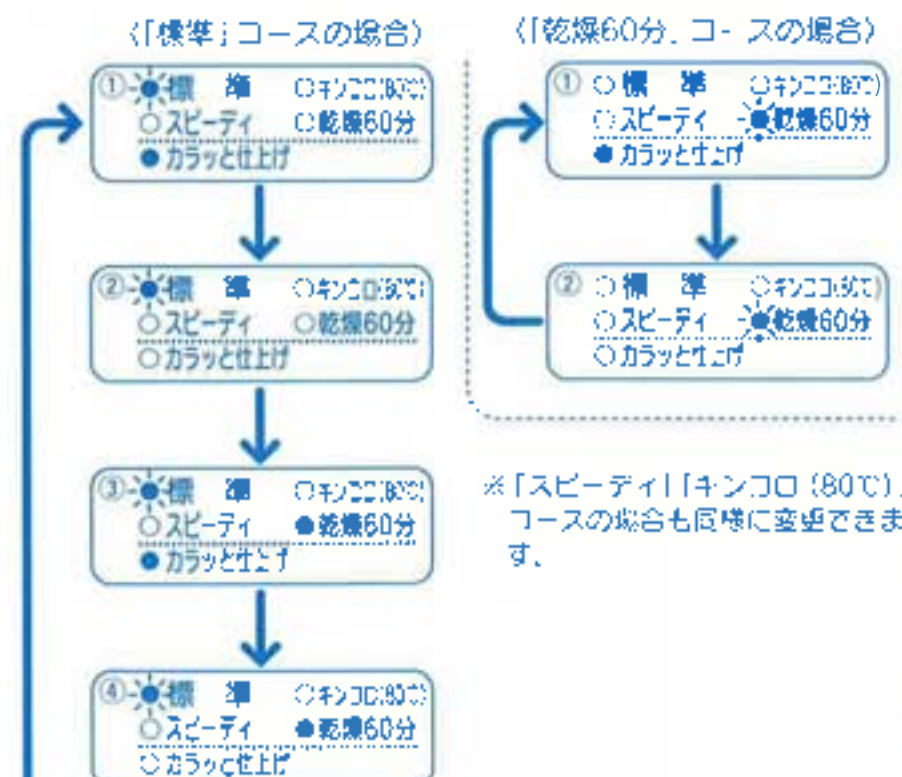
スタート前に「コース」ボタンを押すと、下記の様になります。



◇スタート後(運転開始後)

「乾燥60分」「カラッと仕上げ」の変更

スタート後に「コース」ボタンを押すと、下記の様になります。



カラッと仕上げ

乾燥行程後の食器や庫内の結露を防ぐため、乾欠送風運転を約60分行います。(ヒーターは入りません。)

- 乾燥行程終了後、自動的に入ります。
- 「乾欠送風」がしますが、異常ではありません。
- 「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。

6 「カラッと仕上げ」の変更 参照

- 「カラッと仕上げ」中は「スタート/一時停止」ボタンは受け付けません。ドアを開けると一時停止状態となり、ドアを閉じるとスタートします。
- 「カラッと仕上げ」中に運転を止める場合は、電源スイッチを切ってください。
- 「カラッと仕上げ」中にドアを10分以上開けていると、自動的に給湯スイッチが切れます。

表示ランプの見かた

○ 消灯 ● 点灯 ※ 点滅

使いかた

■ 内の数字は説明のあるページです。

運転前の準備

- (1) アース線が接続されているか確認する
- (2) 排水ホースを、流し台のシンクへ排水できるようにセットする
(無理な力がかからない状態で、ホースの先端を吸盤で確実に固定)して下さい。
- (3) 給水ホースをつなぐ
- (4) 電源プラグをコンセントに差し込む



18 ~ 20 据え付け 参照

※給・排水ホースが折れ曲がっていると異常を検知し、運転を停止することがあります。
※給水ホースが正しく取り付けられていないと水もれの原因となります。

食器を入れる前に

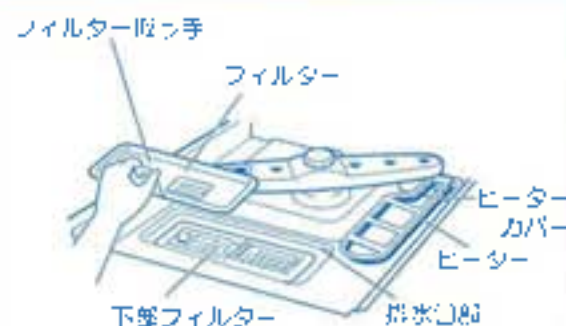
- (1) フィルターが正しくセットされているか確認する
- (2) 食器の残菜(食べ残し)を取り除く
(ひどい油のかたまり、ごはん粒、わかめ、かつおぶし、魚の骨、つまようじ、箸ゴムなどは取り除いてください。
ケチャップやトマトジュースの汚れは、あらかじめ落としてください。ドアやタンク及びカゴに色うつりすることがあります。
※入れてはいけないものや、落ちない汚れがあります。



3 入れてはいけないもの、落ちない汚れ 参照

運転後のあとしまつ

- (1) フィルターを取り出す
(残菜を庫内に落とさないように注意してください。)
- (2) たまった残菜を捨て、フィルターを洗う
※下部フィルター及びヒーターカバーにゴミがたまつた場合は取り除いてください。
- (3) フィルターをもとどおり排水口部にセットする



警告

乾燥終了後はフィルター取っ手やヒーターカバー及びヒーターの表面が熱くなっています。
食器の取り出し・フィルターの掃除・お手入れは乾燥終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。
やけどをする恐れがあります。

※フィルターを洗わないと目づまりして正常な運転ができなくなる場合があります。

※ヒーターカバーに汚れが付着した場合は取り除いてください。

※底部に残水がありますが異常ではありません。

食器の入れかた

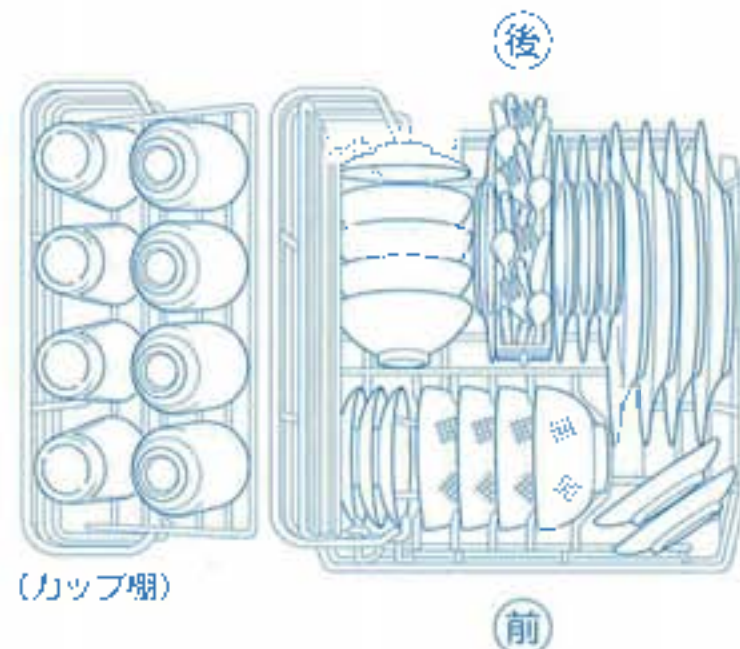
標準的な食器のセット例

4人用のセット例

(4人用のセット例)

茶碗 … 4点
湯碗 … 4点
大 皿 … 4点
中 皿 … 4点
小 皿 … 6点
湯のみ … 4点
コップ … 4点
小物 は し
スプーン
フォーク
ナイフ

計 30点



※食器の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。
※カゴは前後逆方向に使うことができません。

さいばし・まな板の場合

さいばしの場合

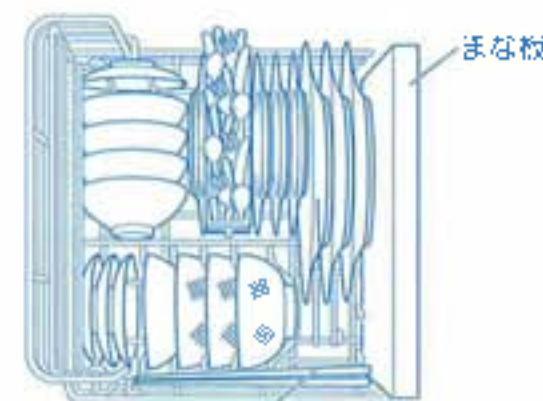
さいばしは、カゴの手前部分に横にはみ出さないように横かきで置いてください。
カゴを出し入れするとき、さいばしが折れたりします。

まな板の場合

カゴの右側に入れてください。
●まな板は汚れのひどい側を中央に向けてください。
●まな板を入れた場合、セットできる食器は約27点になります。

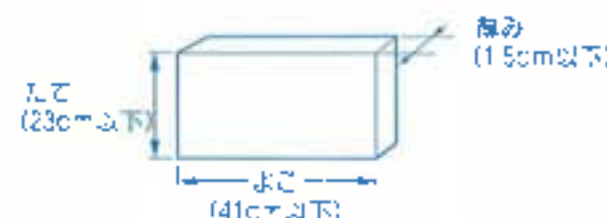
お願い

- 木製まな板はキズの奥に入り込んだ汚れが洗えない場合があります。プラスチック製まな板をご使用ください。
- プラスチック製まな板は耐熱温度70℃以上のものをお使いください。
- また、乾燥後しばらくは熱により変形しやすくなっています。取り扱いには十分注意してください。



(横へのはみ出しに注意してください。)

洗えるまな板の大きさ



食器の入れかた (つづき)

4人用食器の入れ方 (食器は内面が矢印方向に向くようにセットしてください。)

1

はしは汚れた方を下に、
その他の小物は汚れた方
を上にして入れる

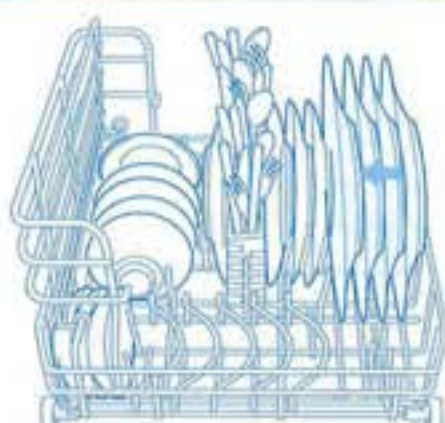


ご注意

- 小皿が小皿入れの隙から飛び出さないように注意してください。
- プラスチック製のはしやフック、スプーン、パターなどには特に注意してください。熱で、ヒーターカバーやヒーターに触れると溶けたり、臭いの原因になります。

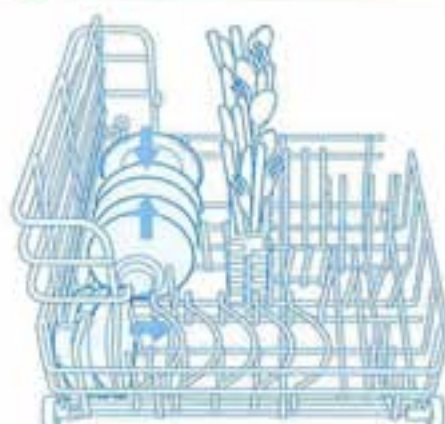
4

大皿を入れる



2

カップ棚を上げて、
その下に小皿・茶碗を
入れる



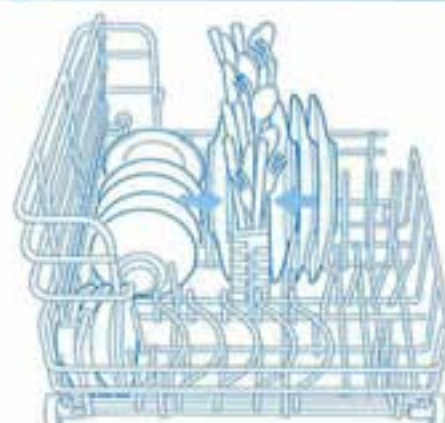
5

吸物わん・小皿を
入れる



3

中皿を入れる



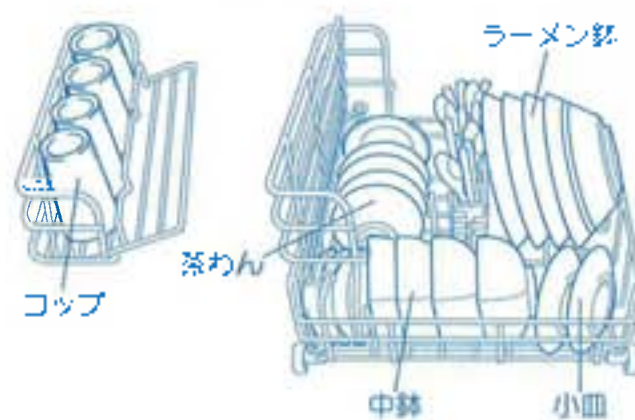
6

カップ棚をおろして
コップ、湯のみをおく

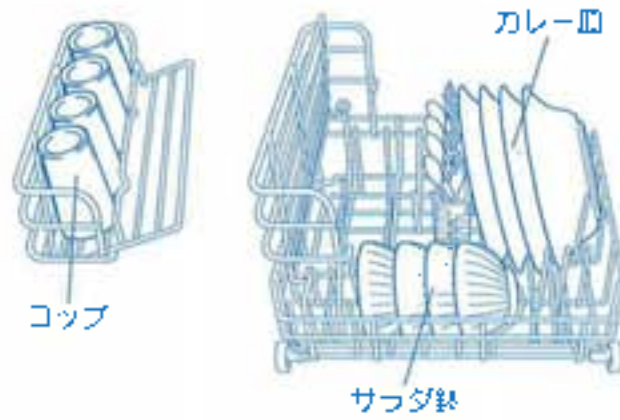


いろいろな食器のセット例

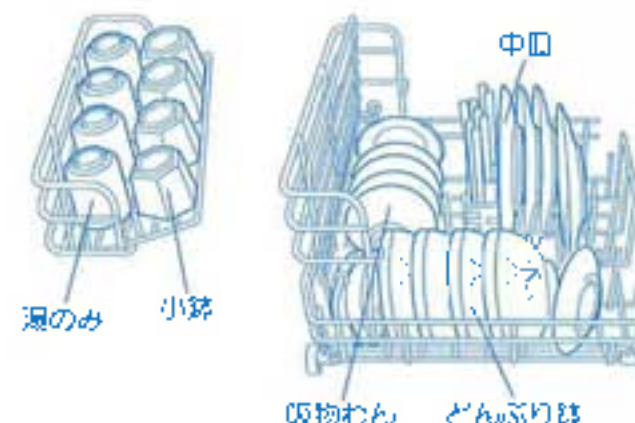
ラーメン鉢の場合



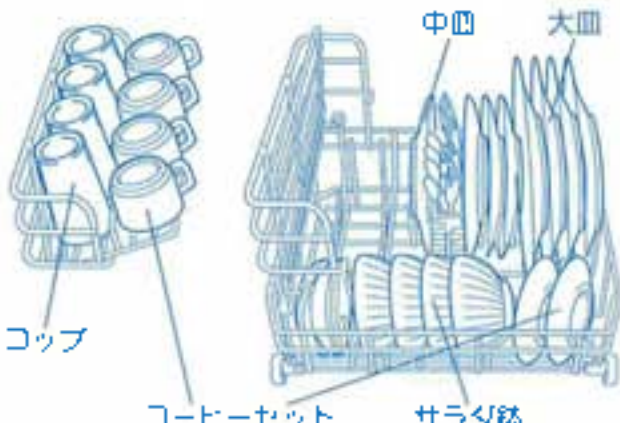
カレー皿の場合



どんぶり鉢の場合



モーニングセットの場合



※形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。

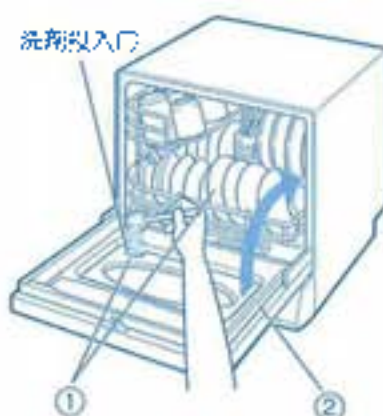
お願い

カゴの保護膜を傷つけると、サビ発生の原因となるので、包丁や鋭利な部分のある調理器具などは、鋭利な部分が保護膜にあたらないようにセットしてください。

コース別操作の手順

■ 内の数字は説明のあるページです。

標準 コース



食後すぐに洗うとき
(ふつうの汚れのとき)

● 点灯
○ 消灯



水栓を開く (水栓を開け忘れると運転できません。)

- ① 残菜を捨て、食器をカゴにセットし、専用洗剤を洗剤投入口に入れる
(洗剤は専用洗剤の付属スプーン約一杯分入れてください。
油汚れの多い場合は、洗剤を多め (一杯半~二杯) に入れてください。)

7 食器を入れる前に 参照

8 ~ 10 食器の入れかた 参照

- ② ドアを静かに閉め、開閉レバーを「とじる」の位置に合わせる
ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。
(開閉レバーを「とじる」の位置にしたままドアを閉めないでください。)

- ③ 電源スイッチを「入」にする
● 給湯接続で運転するときは「給湯 切/入」ボタンを押します。
● 「標準・乾燥60分」コースを選ぶこともできます。「コース」ボタンを押して設定します。

- ④ 「スタート」ボタンを押す
● スタート後に「標準・乾燥60分」コースにするとき、または「カラッと仕上げ」を行わないときは「コース」ボタンを押して変更します。

6 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更 参照

ブザーが3回鳴ったら運転終了
(その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

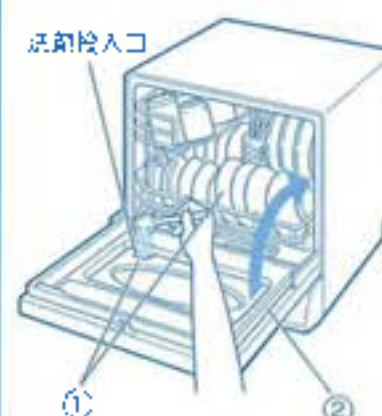
水栓を閉める
フィルターのあとしまつをする
(約30分たって庫内が冷えてから行ってください。)

7 運転後のあとしまつ 参照

ご注意

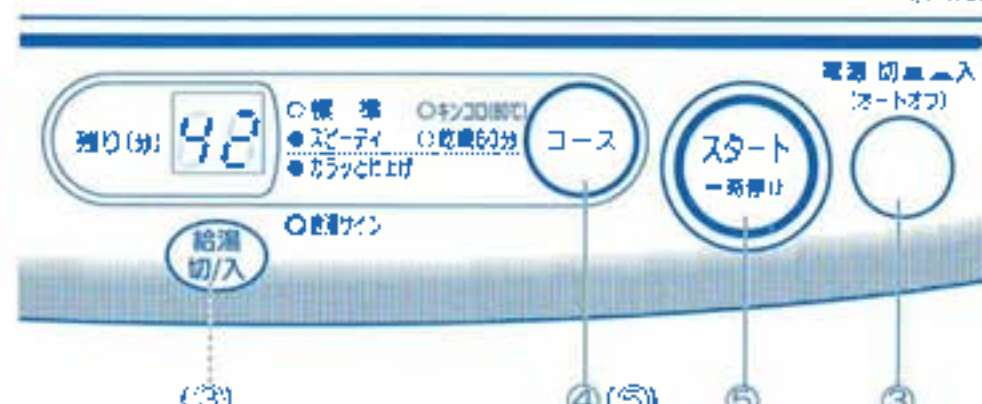
- ご使用後は、必ず水栓を閉めてください。
万一の水もれを防止するためです。

スピーディ コース



モーニングセットなどを洗うとき
(軽い汚れのとき)

● 点灯
○ 消灯



水栓を開く (水栓を開け忘れると運転できません。)

- ① 残菜を捨て、食器をカゴにセットし、専用洗剤を洗剤投入口に入れる
(洗剤は専用洗剤の付属スプーン約一杯分入れてください。
油汚れの多い場合は、洗剤を多め (一杯半~二杯) に入れてください。)

7 食器を入れる前に 参照

8 ~ 10 食器の入れかた 参照

- ② ドアを静かに閉め、開閉レバーを「とじる」の位置に合わせる
ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。
(開閉レバーを「とじる」の位置にしたままドアを閉めないでください。)

- ③ 電源スイッチを「入」にする
● 給湯接続で運転するときは「給湯 切/入」ボタンを押します。

- ④ 「コース」ボタンを押し、「スピーディ」コースを選ぶ
● 「スピーディ・乾燥60分」コースを選ぶこともできます。

- ⑤ 「スタート」ボタンを押す
● スタート後に「スピーディ・乾燥60分」コースにするとき、または「カラッと仕上げ」を行わないときは「コース」ボタンを押して変更します。

6 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更 参照

ブザーが3回鳴ったら運転終了
(その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

水栓を閉める
フィルターのあとしまつをする
(約30分たって庫内が冷えてから行ってください。)

7 運転後のあとしまつ 参照

ご注意

- ご使用後は、必ず水栓を閉めてください。
万一の水もれを防止するためです。

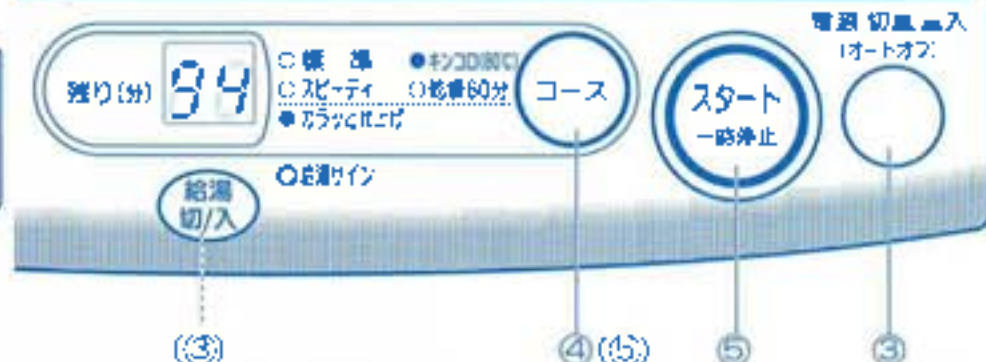
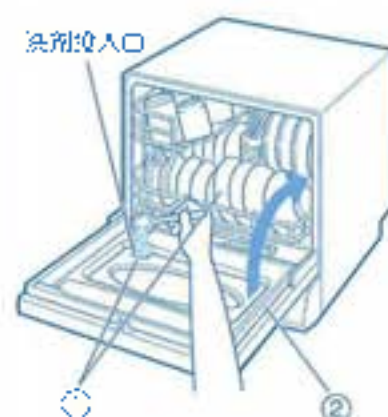
コース別操作の手順 (つづき)

■ 内の数字は説明のあるページです。

キンコロ(80℃) コース

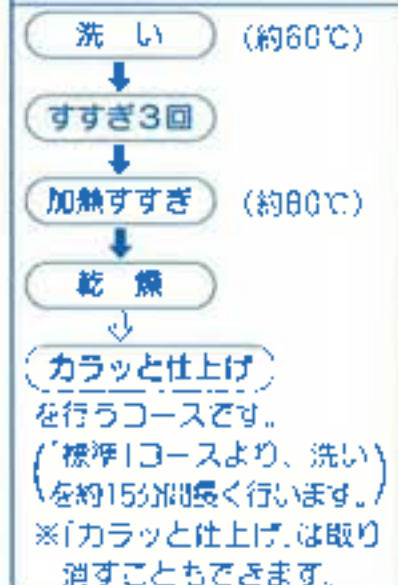
数時間たってから洗うとき
(油污れの多いとき)

● 点灯
○ 消灯



水栓を開く (水栓を開け忘れると運転できません。)

「キンコロ(80℃)」コースとは



①残炭を除き、食器をカゴにセットし、専用洗剤を洗剤投入口に入れる
(洗剤は専用洗剤の付属スプーン約一杯分入れてください。
油污れの多い場合は、洗剤を多め (一杯半~二杯) に入れてください。)

7 食器を入れる前に 参照

8 ~ 10 食器の入れかた 参照

②ドアを静かに閉め、開閉レバーを「とじる」の位置に合わせる
ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。
(開閉レバーを「とじる」の位置にしたままドアを閉めないでください。)

③電源スイッチを「入」にする

●給湯接続で運転するときは「給湯 切/入」ボタンを押します。

④「コース」ボタンを押し、「キンコロ(80℃)」コースを選ぶ

●「キンコロ(80℃)・乾燥60分」コースを選ぶこともできます。

⑤「スタート」ボタンを押す

●スタート後に、「キンコロ(80℃)・乾燥60分」コースにするとき、
または「カラッと仕上げ」を行わないときは「コース」ボタンを押して変更します。

6 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更 参照

ブザーが3回鳴ったら運転終了
(その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

ご注意

- ご使用後は、必ず水栓を開めてください。
万一の水もれを防止するためです。

水栓を閉める

フィルターのとしまつをする
(約30分たって庫内が冷えてから行ってください。)

7 運転後のとしまつ 参照

乾燥60分 コース

手洗いした食器を乾燥するとき
食器をあたためるとき

● 点灯
○ 消灯



①食器をカゴにセットする
(洗剤は入れないでください。)

8 ~ 10 食器の入れかた 参照

②ドアを開け、開閉レバーを「とじる」の位置に合わせる
(開閉レバーを「とじる」の位置にしたままドアを閉めないでください。)

③電源スイッチを「入」にする

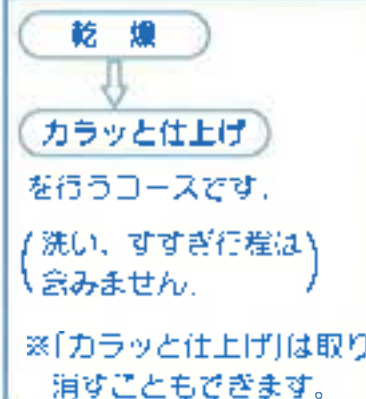
④「コース」ボタンを押し、「乾燥60分」コースを選ぶ

⑤「スタート」ボタンを押す

●「カラッと仕上げ」を行わないときは、「コース」ボタンを押して変更します。6 「カラッと仕上げ」の変更 参照

ブザーが3回鳴ったら運転終了
(その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

「乾燥60分」コースとは



いろいろな運転のしかた

終了ブザー音を消したい場合

- 電源スイッチ「入」の状態ですスタート/一時停止ボタンを約3秒間押し続けます。「ピー」とブザーが鳴ったら設定完了です。

再び終了ブザーを鳴らす場合

- 電源スイッチ「入」の状態ですスタート/一時停止ボタンを約3秒間押し続けます。「ピー」とブザーが鳴ったら設定完了です。

※スタート時及び運転中いつでも設定できます。ただし、運転中に行くと一時停止状態になりますので、その際は、「スタート/一時停止」ボタンを押して再スタートしてください。
※停電したときや電源プラグを抜いた場合、終了ブザーが鳴る状態にもなります。

排水したい場合

- 排水のみをしたいときは、「コース」ボタンで「乾燥60分」を選んで運転してください。スタート後約1分ぐらいで排水は完了しますので、必ず電源スイッチを切ってください。
電源スイッチを切り忘れた場合は、続けて残り時間の乾燥運転を行います。

コースボタンを押しまちがえてスタートした場合

- 電源スイッチをいったん「切」にし、はじめからやり直してください。

所要時間の目安 ■ 内の数字は説明のあるページです。

- 下表の所要時間は、給水は給水温度20℃、給湯は給湯温度60℃の場合の目安です
[給水は0.3MPa (3kgf/cm²)、室温20℃の時]
(所要時間は、水温・水压・室温によって変わります)
(下表の所要時間には、「カラッと仕上げ」の時間は含まれません)

コース	給水/給湯	所要時間	所要時間の内訳							説明のページ
			給湯準備	洗い	すすぎ			加熱すぎ	乾燥	
標準	給水	約73分		19分				34分	20分	11
	給湯	約47分	1分	11分			×	15分	20分	
スピーディ	給水	約42分		16分				26分		12
	給湯	約17分	1分	7分				9分		
キンコロ(80℃)	給水	約94分		34分				40分	20分	13
	給湯	約70分	1分	26分				23分	20分	
乾燥60分	—	約60分							60分	14

※すすぎ2回目終了後の水温が約43℃以上あるときは行いません。

- すすぎ(1,2,3)の行程ではヒータは入りません。水温に関係なく各1分間づつすすぎを行います。

給湯接続について

- 給湯配管に接続して、給湯切ノ入、ボタンを押し、「給湯サイン」ランプが点灯したときは、スタート直後に給湯準備行程を行います。
- 給湯準備行程では、給湯配管にたまった冷たい水を排水し、洗浄開始から給湯温度で給湯配管で食器の洗浄を行うために、約1分間の給湯排水を行います。

残り時間表示の途中修正について

- 残り時間表示は、途中で修正を行い、目安の時間表示を変えています。これは、室温や給水温度、食器の量などによって運転時間が変わるためです。故障ではありません。
- 途中修正のしくみ
①スタート後約3分間 目安の時間を点滅
②修正直前 ③スタート後約3分後修正した目安の時間を点滅
④加熱すぎの始めと乾燥行程の直前に修正を行う
(表示例) 93 → -- → 70

乾燥60分について

- 乾燥など、食器が湿りやすい場合は、「乾燥60分」を設定して下さい。

6「乾燥60分」の変更 参照

- 「乾燥60分」を設定すると、所要時間は上表より、「標準」「キンコロ」(80℃)コースで約40分、「スピーディ」コースで約60分長くなります。

カラッと仕上げについて

- 「カラッと仕上げ」を設定すると、所要時間は上表より約60分長くなります。

仕上がりが悪いと思われる場合

食器の底部に水が残る場合

- 食器の形状やセットのしかたによっては運転終了後、底部に水が少し残ることがありますが、異常ではありません。



ガラス食器に薄い水滴のあとが残る場合

- 水に含まれているミネラル分のためで、洗浄やすすぎ不足によるものではありません。
- 水質硬度の高い地域では洗剤を多め(一杯半〜一杯)に入れてください。



洗えていないものがある場合

- 食器や小物が重なりすぎていませんか。
- 小物や食器の一部がカゴからはみだして、ノズルの回転を止めていませんか。



庫内に水滴が残る場合

- 運転終了後にタンクの天井やドアの内側に水滴が残ることがあります。これは庫内の結露現象によるもので、異常ではありません。
- 「カラッと仕上げ」を使用すると、結露現象による水滴の付着が防げます。



食器が黄色く、または薄黒くなっているとき

- 水に含まれている鉄分や銅分などのためです。ときどきは食器をこすって洗ってください。



ガラス食器類が白くくもるとき

- 表面に小さな傷のついたガラス食器類を高温の洗浄水で洗うと、傷が深み白くくもることがあります。
- 洗浄温度の低い「スピーディ」コースの使用をおすすめします。

その他仕上がりが悪い場合

- 食器の汚れた面が上向きになっていませんか。
- 食器のこげつきや、こびりついた汚れは前もってよく落としてから入れましたか。
- むりな入れ方をしていませんか。
- コースの選択は適切でしたか。

- フィルターを上向きにセットしていませんか。
- 洗剤を入れ忘れていませんか。
- 専用洗剤以外の洗剤を使用していませんか。
- フィルターが目づまりしていませんか。
- ノズルは右方向に回転していませんか。

お手入れ

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、庫内が冷えてから行ってください。運転終了直後は底にあるヒーターが高温のため、さわるとやけどをする恐れがあります。

本体のお手入れ

本体表面は、ぬれたやわらかい布で汚れをふいてください。

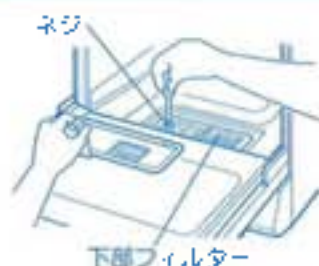
- 汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみ込ませてふいてください。
 - ペンジン、シンナー、クレンザー、ワックスなどの使用はやめてください。
(塗装面やプラスチック部を傷めます。)
 - 前後部の吸気口・排気口にゴミが詰まったときは、掃除機などで掃除してください。
- ドアやタンクの内面は、やわらかい布でいいねいにふいてください。
- においや内面の汚れが気になるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに空運転してください。(ただし、カゴは入れて運転してください。)



下部フィルターのお手入れ

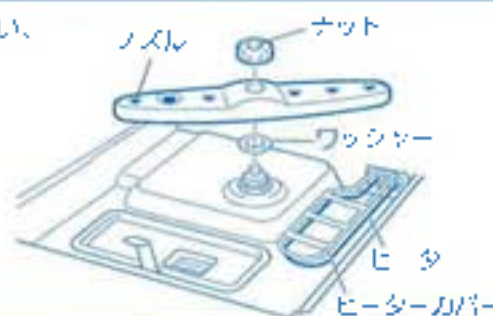
汚染防止のために二重フィルター構造を採用しています。

- 下部フィルターが目づまりした場合には、ネジをプラスドライバーではずし、下部フィルターを取り出して、たまった残菜をきれいに取り除いてください。
 - 異物が詰まったままの状態ですと、ノズルからの水の土が悪くなり、洗えない場合があります。
 - 下部フィルターを外したとき、底部に残水がありますが異常ではありません。
- ※ 下部フィルターを取り付けるとき、ネジを締めすぎないようにしてください。



ノズルのお手入れ

- ノズルの穴に異物が詰まった場合は、つぎの手順でお手入れしてください。
 - ① ナットを右に回してはずし、ノズルを取り出す。
 - ② ノズルの裏側から水を勢いよく入れ、異物をきれいに落とす。
(水洗いでとれない場合は、つまようじ等でとってください。)
 - ③ 取りはずした部品は、もとの位置に正しくセットする。
- ※ 取り付け後、ノズルが手で軽く回ることを確認してください。



ヒーターカバーのお手入れ

- ヒーターカバーにゴミがたまった場合は取り除いてください。(但し運転終了後30分以降に行ってください。)
- ヒーターカバーのお手入れのとき、ヒーターカバーを歪ませないでください。
(歪ませるとノズルがあたり回らなくなります。)

長期間使用しない場合

- 水栓は、必ず閉めてください。万一の水もれを防止するためです。
- フィルター及び下部フィルターにたまった残菜をきれいに取り除いてください。
- カゴから食器を取り出してください。
- 本体洗面にある、水抜きキャップを外して、庫内の残水を抜いてください。水抜き後、必ず水抜きキャップをもとの位置に正しく取り付けてください。
- 次にお使いになるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに空運転してからお使いください。

据え付け

■ 内の数字は説明のあるページです。

- 1 本体やカゴに貼ってあるテープや緩衝材などは、全部取りはずしてください。
- 2 付属品を確認してください。4 付属品 参照

設置場所について

- 給水、排水に便利のように、流し台や料理台の上に置くのが理想的です。排水が高温のため、シンクがボコンと音を出すことがありますが異常ではありません。
- しっかりとした水平な面に設置してください。
- 傾いた場所では正しく動作しないことがあります。
- 凍結の恐れのある場所(寒帯0℃以下)や直射日光のあたる場所への設置は避けてください。
- ガスコンロなどの熱源からは、15cm以上離してください。
- キッチン内部など、本体周囲が密閉された場所への設置はしないでください。
- 機器の両側面、上蓋、後面は壁面から5cm以上離して設置してください。吸気口、排気口はふさがらないでください。

電源について

警告



● 交流100V、15A以上の専用コンセントをご使用ください。火災の原因となりますのでタコ足配線は絶対にしないでください。

電気工事は、電気設備基準に準じて行ってください。



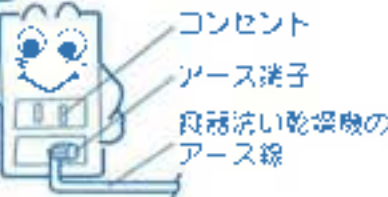
アースについて ※アース工事は、有料です。

警告



万一の感電防止のため、必ずアースをしてください。また、アースのほか漏電ブレーカー(定格電流20A・感度電流30mA)の取り付けをおすすめします。(詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。)
※ アースの付けはずしは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

コンセント部にアース端子がある場合



アースの先端を確実にアース端子に取り付けてください。

コンセント部にアース端子がない場合



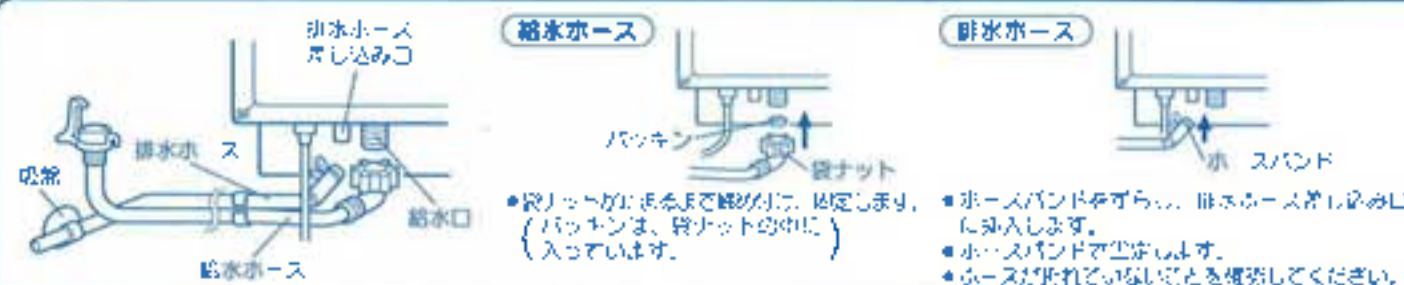
※ 0種接地工事(第3種接地工事)が必要ですので販売店にご相談ください。
(アース工事は電気工事士の有資格者が行うよう法令で定められています)

次のような場所にはアース線を絶対に取り付けしないでください。
(法令などで禁止されています。)

- ガス管・・・爆発や引火の危険があります。
- 電話線や配線管・・・落雷のとき危険です。
- 水道管・・・途中より金で覆われているところが多いため避けてください。

据え付け（つづき）

3 本体に、給水ホース・排水ホースを接続します。



給水ホース・排水ホースの延長のしかた（給水ホースは切らないでください。水漏れの原因になります。）

- 80系の給水ホース、または延長用排水ホースをそれぞれ接続してください。
- 延長後の排水ホースの高さは設置面より20cm以下、ホース先端の排水口は設置面より下にしてください。ホース先端についていた眼線をはずし、延長されたホースの先端につけかえてください。
- 延長後の排水ホースの全長は2.5m以内にしてください。

接続時の注意点

- 給水ホースの接続は左右どちらか方向を決めてから締め付けます。緩ナットを締め付けた後、ホースを回転させるとナットがゆるみ、水もれの原因となります。
 - 給水口の内部に入っている部品は取りはずさないでください。給水量を調整するためのフロートコントローラーが入っています。
 - 排水ホースの先端は器底面より低くしてください。また、途中を立ち上げる時は、20cm以下にしてください。
- 
- 排水ホースが長すぎるときは切ってください。長すぎると途中で折れ曲がり、排水できなくなります。図柄は必ずついています。



- 排水ホースの接続は、排水ホースを出す方向を決めてから押し込みます。
反対方向に引っ張ると、ホースがねじれ、排水不能になることがあります。

- 排水ホースは根元まで確実に差し込み、ホースバンドで必ず固定してください。

水道水圧の確認

- 給水の水圧は、概ね0.03MPa(0.3kgf/cm²)以上、最高1MPa(10kgf/cm²)以下です。
水圧が低すぎると給水に問題がわかり、運転時間が長くなります。

給湯接続の場合

- 給湯配管への接続は、水道工事に、またはお買い上げの販売店へご相談ください。
 ・10号以上の先止め式給湯機に接続してください。元止め式の漏沸器には絶対に接続しないでください。
 ※流し台の上につける漏沸器は、元止め式ですので絶対に接続しないでください。
 70℃以上のお湯が供給される給二には接続しないでください。ホースや内部の部品が破損する恐れがあり、運転を停止することがあります。

■ 内の数字は説明のあるページです。

4 水栓に「分岐水栓」または「マジックジョイント」を取り付けます。

- この機種には、「マジックジョイント」を同梱していません。
- 水栓の形に合わせて「分岐水栓」または「マジックジョイント」をお買い求めください。
- 「分岐水栓」または「マジックジョイント」については、現在お使いの水道水栓をお調べの上、販売店にご相談ください。
- 水栓への取り付けには、「分岐水栓」または「マジックジョイント」の説明書に従ってください。

分岐水栓について



- これ以外の分岐水栓も同様しております。購入・取り付けに際しては、販売店とよくご相談ください。

マジックジョイントについて



22 別苑品 卷四

- すでに古いマジックジョイントがついている場合は、必ず別売の「分岐水栓」又は新しいマジックジョイントに取りかえてください。
- 混合水栓、混合水栓の場合には別売の「分岐水栓」をご使用ください。

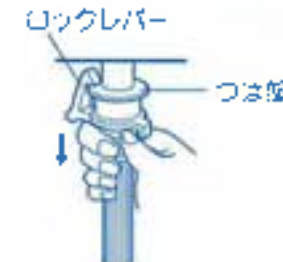


5 「分岐水栓」または「マジックジョイント」に給水ホースを接続します。

- ②スリーブをはなし、
「パチン」と音がする
まで十分に差し込む。

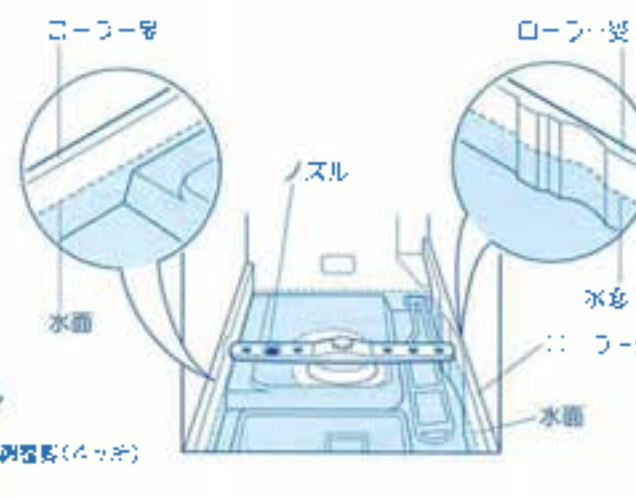


- ③ロックレバーがつば部に
かかっているのを確認し
た後、ホースを下へ引い
て、完全に取り付けがで
きているか確認する。



6 水平を確認します。(電源プラグをコンセントへ差し込んだ状態で、本体を傾けると排水ポンプが動作することがあります。)

- ①「標準」コースを通籍し、洗滌が始まったら「スタート／一時停止」ボタンを押してドアを開けてください。
②水面がタンク左右のローラー受と平行で、かつ同じ高さの位置になっているか確認してください。
③平行になっていない場合は、電源プラグをコンセントから抜き本体を少し持ち上げ、調整脚の高さを調整し、平行にしてください。
※右に回すと低く、左に回すと高くなります。
がたつきがありますと、ドアの開閉がスムーズにいかない場合があります。
④水平確認が終わったら電源プラグをコンセントに差し込み排水してください。



- 14 いろいろな運転のしかた
「排水したい場合」参照

異常表示

■ 内の数字は説明のあるページです。

●残り時間表示部の点滅とブザーでお知らせします。(ブザーは5分間隔で16回鳴ります。)

表示部	症 状	点検・処置のしかた
「表示なし」	●全然運転しない	●電源プラグが確実に差し込まれていますか ●電源スイッチを入れましたか ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか ●停電していませんか 21 停電したとき 参照
	●電源スイッチが「切」の状態でも動作している	●修理が必要です 電源スイッチが「切」の状態であっても給水異常を感知した場合、水漏れを防ぐため自動的に排水ポンプが動作します。必ず水栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理依頼してください。
「数字の表示」	●全然運転しない	●「スタート/一時停止」ボタンを押しましたか ●ドアの開閉レバーを「止める」の位置に合わせましたか
	●水が入らない	●水栓を開いてありますか ●止水していませんか 21 止水したとき 参照
E1	●ドアを開けても水が出つづけている	●給水が止まらない場合 必ず水栓を閉じ電源スイッチを「切」にしてお買い上げの販売店へ修理依頼してください。
	●排水されない	●フィルターに紙屑がたまって、目詰まりしていませんか 7 運転後のあとしまつ 参照 ●排水ホースが折れ曲がったりつまっていませんか
E3, E4, E5, E6, E7	上記以外の症状	●修理が必要です 表示内容を確認して必ず水栓を閉じ電源スイッチを「切」にしてお買い上げの販売店へ修理依頼してください。

●修理が必要な項目以外でも点検処置をして症状が改善されない場合は、必ず水栓を閉じ、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
(この時、残り時間表示部の表示内容を記録して販売店に説明してください)
●ご家庭での修理は危険ですからやめてください。

凍結・停電・断水したとき

凍 結	①電源スイッチを「切」にし、タンク内に70℃くらいの湯を約3L(ヒーターがつかる程度)入れ、解凍してください。 ②給水・排水ホースの凍合は湯につけて解凍してください。 ③解凍後、電源スイッチを「入」にし、「標準」コースで運転できていることを確認してください。	  
停 電	①電源スイッチを「切」にします。 ②停電が回復したら、はじめから操作をやり直してください。	
断 水	①電源スイッチを「切」にします。 ②断水が回復してから使用する場合は、まず給水ホースを水道蛇口からはずし、にこった水がないことを確認した後、運転を開始してください。	

別売品

お求めの際は、お買い上げの販売店または別紙「おさまご相談窓口」記載のお近くの「修理相談窓口」へご相談ください

専用洗剤 ●必ず食洗機専用の洗剤をご使用ください。 ●「シンクやタンクに強い」洗剤配合 ●多量の水で洗っても汚れに強い ハイウォッシュA N-HS80A(800g入) (税別価格) 61/248-4075	設置プレート(ステンレス製) (KA-DW-SB2) シンクの下のスペースが有効活用できます。お掃除に使用する場合にも活用できます。 (幅420×奥行525mm)	高さ調節脚 設置プレートと組合せて、お掃除に活用できます。 KA-DW-SB3C (高さ:130~300mm) KA-DW-SB1B (高さ:120~190mm)
給水ホース 付属の給水ホースが短い場合にご利用します。 (長さ2.2m: 税別価格 61/127-0969) (長さ3.2m: 61/127-0952)	延長用排水ホース (ホースジョイントつき) 排水ホースを延長する場合にご利用します。 (長さ1m: 51税別価格 61/120-4810)	マジックジョイント (全自動洗濯機の部品と共通です。) 給水ホースを食洗機に接続する際に使用します。 (税別価格 61/146-3446)
カゴ お洗濯をするときにご利用ください。 (お洗濯のしやすさ、お洗濯のしやすさ、お洗濯のしやすさ) (税別価格) 61/219-7780	専用置台 (KA-DW-T-12) シンクの下のスペースを有効活用したい場合にご利用ください。 キャスター付で移動できます。 (幅420×奥行500×高さ550mm)	

※別売品は、製品の改良のため予告なく変更することがあります

アフターサービスについて

保証書について

- この食洗機は故障時には保証書がつけられています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、お取り扱いをよくお読みください。大切に保管してください。
- 食洗機本体の耐用年数は約10年です。
●補修に性能部品と、その製造の機能を維持するために必要な部品です。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年です。くわしくは保証書をご覧ください。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについてお問い合わせの際は、お買い上げの販売店、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お買い上げの販売店により有料で修理させていただきます。

外国での保証は

- この食洗機を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

転居されるとき

- 電源周波数(Hz)の異なる地区へ転居されても50-60Hz共用ですので部品の取り換えは不要です。
- 本体を移動する前に、本体底面の排水キャップを外し、排水処理を行ってください。(その排水キャップは、もとの位置に正しく取り付けてください。)